

NOSA I山形では組合員のニーズに沿った

さまざまな損害防止事業を展開しています

家畜共済の損害防止事業につきましては、常日頃から御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

昨今の疾病発生傾向や飼養形態の急激な変化へ迅速に対応し、当事業に対する要望の多様化にも応える目的で、独自の選択型損害防止事業を実施しています。詳しくは最寄りのNOSA Iにお問い合わせ下さい。

選択型損害防止事業の種類と概要

1. リスク管理コース

死廃事故の多発や成績不振の農場で、かつ改善意欲のある農場を対象に、必要な検査、処置および指導について集中的に行います。

2. 生産支援コース

従来から行ってきた定期繁殖検診、感染症予防のための検査・ワクチネーション、疾病予防・生産性向上のための血液検査などを計画的に行います。

3. HACCP 支援コース

食の安全・安心に寄与することを目的に、家畜衛生と家畜福祉を主眼に置いた検査や指導などを行います。また、希望する農場には中央畜産会の HACCP 推進農場の認定を受けるための巡回指導も行います。

4. 広域損防コース

生産団体や地域を対象とした講習会開催、バルク乳検査、感染症モニタリング等を実施します。